

2019年度ホームエレクトロニクス開発学科企業連携プロジェクト発表プログラム
(日時 2月5日 13:00~18:15 場所:K2-メディアホール)

順番	発表者	タイトル/概要	発表時間
1	1733006 荻野 泰佑	ECHONET Liteによる空調機制御を行うiOSアプリ開発	10.5
	1733032 高橋 明優	本プロジェクトでは、エアコンと空気清浄機を操作するためのアプリケーションをX codeとSwiftを用いてECHONET Liteのクラス規定に基づき作成した。	
	1733004 佐藤 拓也		
2	1733043 中川 優輝	位置情報と音声で埋め込まれた画像を用いた保育活動の三次元ドキュメンテーション	10.5
	1733009 小野 竜誠	保育活動中に撮影された写真に位置情報と音声情報を埋め込むタグカメラというアプリケーションと、Unity、SketchUpを用いた三次元保育ドキュメンテーションの作成を容易に行うシステムを作成した。	
	1733007 國部 渚		
3	1733014 岡本 直也	分電盤とコンセントの対応の解明	10.5
	1733018 久江 健太	住宅メーカは新築の引渡し前、分岐ブレーカとコンセントの対応を1つずつ確認している。この作業を一人で行えるツールを開発した。ECHONET Lite対応の分電盤を用い、コンセントの負荷に対応する分岐回路の電力を表示する。	
	1733034 元村 隼		
4	1733010 伏見 魁	忘れ物をさせない！快適生活支援システム「KAIちゃん」	10.5
	1733035 市川 雅也	私たちは、前期に提案した快適生活支援システム「KAIちゃん」のプロトタイプを作成した。その後、学園祭で展示を行い、アンケートから「KAIちゃん」の有効性について評価した。	
	1733048 鬘柳 理子		
5	1733008 柳橋 宏祐	新しいベッドホンの提案 前期の市場調査より、ベッドホンのデザインコンセプトの装着時の不快感と音質に重点を置いてデザイン、モックアップ作製に取り組んだ。	5.5
6	1733041 長松 朋紀	新しいリモコンのデザイン 家電の新デザインとしてテレビのリモコンを中心に調査した。現在市場にあるものはボタンが多すぎるのではないかと。使用されない機能も多いのではないかと。以上のことを含め新しいリモコンのデザインを考案する。	5.5
7	1733019 坂田 航	これまでにない優れた扇風機	8
	1733020 岩城 健太	シンプルにまとめると扇風機をデザインしモックアップまで完成させます。これまでにない、ユーザーの皆様が機能、デザイン、ともに満足できる扇風機を作りました。	
8	1733036 近藤 将一	新しいドライバーのデザイン 私がこのドライバーをつくりたいとおもったのは両手が空いていれば早く乾かせる手が疲れないのではないかと考えたからです。さらに体重計をつけることで一つのもので使い方が2個あるという便利なものを考えました。	5.5
9	1733040 齊藤 優	カメラを用いた二輪車の運転支援システムの企画	8
	1733038 八條 晃輔	普段自分たちが利用する二輪車は四輪車に比べ危険が多いが、二輪車に搭載される運転支援装置は少ないのが現状である。そこで今回、デジタルカメラの技術を利用した二輪車のための運転支援装置を考え企画した。	
10	1733015 河野 大陽	各避難所における被災者の被災者状況を地図上で見える化するシステムの開発	10.5
	1733031 安樂 昌佳	本研究では各避難所における被災者情報の見える化を行うことで、大規模災害時における被災状況や食料や生活用品の救援ニーズのミスマッチを軽減できる被災者情報管理システムのアプリケーション開発を行ったのでその詳細を報告する。	
	1733030 皆川 大地		
11	1733046 熊木 亮	立体ゾートローブに動きを見る脳の不思議	8
	1733013 菅野 広貴	アニメーション表現の一つである立体ゾートローブを3Dプリンターを用いて製作する。さらに、知覚心理学的観点から、諸説あるアニメーションに滑らかな動きを知覚する理由について考察する。	
12	1733033 小川 実結人	律走行ロボットの製造業現場への適用 産業界での労働者不足を補うために自律ロボットへの期待が高まっている。製造工場や倉庫からの部品の自走配送を競技課題とした技能五輪全国大会出場を通して、現場での運用を想定した自律ロボットを設計開発した。	5.5
13	1733023 金子 隆史	風呂の掃除器具と方法の検討 風呂掃除の器具と方法の評価を行った。まず、素早く掃除ができる両手両足を使った方法を検討した。しかし幾度かで難しいという評価になったため、片足は使わない方法に改め、両手と片足だと容易にできると分かった。	5.5
14	1733024 関戸 大悟	動作分析に基づいた個性の同定とそのヴァーチャル・ピーニングのためのKinectV2を用いた表出システム	10.5
	1733022 蓮沼 雅之	本研究では動きの特徴として表出した個性に着目し、KinectV2によって人の動きをトラッキングUnityにて表示させたアバターにデータを反映、再生することで体験者が自分の個性を客観的に観察可能な状態にする。	
	1733037 秋山 和輝		
15	1733044 中村 智哉	横浜スタジアムの照明と省エネ	8
	1733001 森戸 大地	LED照明化が進められている横浜スタジアムでまだLED照明化されていない箇所をLED照明化するとどれだけの電気料金の節約になり省エネ化されるかを調べ、考察する。	
16	1733026 菅野 悠待	野球人口の減少について	10.5
	1733045 森川 瑠平	小中学生を中心に野球離れが加速している。本プロジェクトでは、地域の小学生を対象としたスポーツに関するアンケート調査を行い、野球離れに関する考察し、子どもたちの野球離れ対策を検討した。	
	1733042 大塚 太一		
17	1733027 宮嶋 大虎	加湿器を用いたろうそく型LED照明の開発	10.5
	1733025 青木 琢真	本プロジェクトはろうそく型LED照明の開発を進めてきた。これまでの成果と競合商品の調査結果からフォグスクリーンが炎の表現に利用できると考え、加湿器による噴霧を利用したろうそく型LED照明を開発した。	
	1733039 金林 大地		
18	1733021 荻野 大輔	電気掃除機の付属ヘッドに関する実験的考察 本プロジェクトは、電気掃除機に含まれる付属ヘッドをユーザー目線での使用に注目して実験的に考察を行った。その結果、電気掃除機の実験的な機能の評価や改善につながることが分かった。	5.5
19	1533028 伊藤 公大	洗濯機の洗剤や洗い方による汚れの落ち方の考察	10.5
	1733011 矢野 瞭太	放置した汚れの洗浄性の検証実験を行った。検証実験の結果から、汚れが落ちにくい衣類と汚れの考察実験を行った。2つの実験から、汚れの成分や衣類の種類での汚れの落ち方を考察した。	
	1733047 濱野 あゆみ		
20	1733012 品川 普	ガンマイクロホンの改造と性能評価	8
	1733028 小林 幹	距離を離しても安定して音を拾えるようなガンマイクロホンを作成する為に、オーディオテクニカのBP4071Lを基に改造を行った。また、改造したガンマイクロホンを他社製品と比較するなどして、評価も行った。	
21	1733005 杉本 直輝	「風を遠くに届けるファン」の開発	8
	1733029 佐藤 優次	目の見えない人などを対象に、壁や曲がり角の存在を風で知らせることを目標としたファンの開発。市販されている軸流ファンに様々な追加要素を加えることで、より遠くまで一定の風速を保った風を送る方法を検討・実践した。	

注：発表時間は質疑応答時間を含まないで、質疑応答時間が1テーマにつき約2分。